

ICB 理事長からのメッセージ

「グローバル人材」という用語もすでに聞き飽きた感がありますが、政府をはじめ多方面に及ぶ取り組みがなされてきているにも拘わらず、いまだに我が国は「グローバル人材欠乏症」ともいふべき事態から抜け出せていないのではないのでしょうか。例えば、外国の大学に留学する学生が日本だけ減っている、国際的な人材バンクに登録されているマネージャークラスの日本人は極端に少ない、国連等の国際機関に働く日本人は本来のクオータを下回ったまま、といったデータが示すとおりです。

2010年の秋、様々な分野で国際的なキャリアを辿って来た数名が集まって話し合う機会がありました。

「グローバルに活躍したいと思っている若い世代を我々としてなんとか応援できないか。」

「これまで国際的に活躍された方々が蓄積している貴重な経験・ノウハウを世代間で継承・共有できないか。」

そんな共通の思いを具体的な形にするため、特定非営利活動法人（NPO）国際人材創出支援センター（ICB）を立ち上げ、同年11月に東京都の認可を得ました。

爾来、この趣旨に共鳴して参加したメンバーの人脈を活かして活動を続けてまいりました。その中核はほぼ毎月一回のペースで続けてきた講演会の主催です。産・官・学の各面でグローバルに活躍されてきた講師の方々から文字通り貴重な経験をシェアしていただきました。また、世界と向き合う日本人として必要な「教養」もテーマとして取り上げています。回を重ねた講演会と講師のリストはこのホームページ上でご覧いただけます。

講演会以外にも例えば国際会議で活躍したり、国際交渉で成果を収めたりするためのノウハウに関する「コーチング」や、「知の磁場」として様々な勉強会や研究会を自主的に開催するといった活動を行っています。

ICBは有志によるボランティア活動として運営されております。

皆様におかれましてはどうかこのNPOの趣旨をご理解いただき、暖かいご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

また、ご賛同いただける方々のネットワーク拡大についてご協力を頂戴できれば望外の喜びです。

特定非営利活動法人 国際人材創出支援センター
(Centre for International Capacity Building)
理事長 松平 恒和